

令和5年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%					○
算数	62.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%					○
情報の扱い方に関する事項	63.4%					○
話すこと・聞くこと	72.6%					○
書くこと	26.7%					○
読むこと	71.2%				○	

【考 察】

- 毎日の授業や家庭学習では、学習した漢字や言葉を積極的に使いながら、文章を丁寧に書くことを続けてきた結果、漢字や言葉を正しく使う力や、文章を正しく書く力が向上しました。
- 「読むこと」の領域では、複数の資料から内容を、正しく読み取る問題の正答率が全国平均を下回りました。中心となる言葉や文に着目しながら文章を読む学習を積み重ね、書かれている内容を正しく読み取る力を伸ばしていきます。また、教科書以外の文章を読む機会を増やし、日常的に読解力の育成を図っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%				○	
図形	48.2%					○
変化と関係	70.9%					○
データの活用	65.5%	○				

【考 察】

- これまでに継続して取り組んできた「読み上げ計算」や単元ごとの習熟度別学習、学期毎に行っている「計算コンクール」の取組により、特に、各領域の知識・技能の定着が図られました。
- 「データの活用」領域では、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な情報を読み取ったり、複数のグラフの違いについて分かることを書いたりする問題の正答率が全国平均を下回りました。目的に応じて資料を読み取る学習や、読み取ったことを相手に伝えるように表現する学習を継続して行い、データを読み取る力や読み取ったことを活用して問題を解決する力の育成を図っていきます。

**令和5年度 全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない
小	全 国	28.7	42.0	22.1	7.1
6	白五小	51.6	32.3	9.7	6.5

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習では、学校として自主学習を奨励しています。授業の学習内容に合わせた予習や復習、自分の課題となっている学習などに、工夫して取り組む児童が見られ、学習内容の理解につながっています。
- 今後は、優れた自主学習の内容を紹介するなど効果的な自主学習の進め方について校内で共有していくことで、計画的に家庭学習を進められる児童を増やしていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6
6	白五小	0.0	6.5	93.5	0.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 児童全員が、「1時間以上の家庭学習」を行っており、学校の目標である「家庭学習時間70分」をほぼ達成しています。家庭学習の提出率100%を目指した学校の取り組みにより、家庭学習の習慣が身に付いています。
- 今後は、「家庭学習の手引き」の活用による自主学習の充実を図り、発展的な学習や児童の興味・関心に沿った探究学習、補充学習など、児童の実態に応じた家庭学習を推進して、家庭学習の質と量の向上に努めていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	全 国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5
	白五小	6.5	3.2	16.1	35.5	22.6	16.1

(単位 %)

【考 察】

- 朝読書や授業における読書時間の確保に取り組んできた結果、全く読書をしない児童の割合は昨年度と比べて、50%近く減少しました。今後も、図書館教育計画に基づき、必読書を読むことの励行や、図書委員会による読書玉入れ、読書ビンゴ、読書表彰の取組を行ったり、地域ボランティアによる読み聞かせを行ったりするなど、日常的に本に親しむ機会をつくっていきます。
- 30分以上読書をする児童の割合は、全国平均を下回っており、読書の機会や時間の確保を行っていく必要があります。学校司書との連携による学級文庫の充実や、授業と関連する本を読む活動の設定、家庭における読書の推進などを図り、読書量を増やしていきます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	その他
小 6	全 国	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9	
	白五小	38.7	45.2	12.9	3.2	0.0	

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「自分の考えを持ち、進んで表現し高め合う子どもの育成」を目指しています。授業においては児童同士が話し合う活動を積極的に取り入れることで、自分の考えを伝える力の育成を図ってきました。その結果、友達の考えを生かしながら学ぶ姿が育ってきました。
- 今後は、ペアやグループなどの学習形態を工夫し、児童同士で考えを伝え合う活動の活性化を図ります。また、タブレットや電子黒板などのICT機器を活用した話し合い活動を積極的に取り入れ、児童がさらに考えを深めたり、広げたりできるようにしていきます。